

原発事故4年半語る

古知野高で福島の仲山さん

福島第一原発事故の影響で全町避難となっている福島県富岡町の仲山弘子さん(五三)の講演会が二十九日、江南市古知野町の古知野高校であった。現在は福島県いわき市で避難生活を送る仲山さんが、震災後の四年半を語った。

桜並木の美しい町だった富岡町だが、現在でも住民は一時帰宅しか許されていない。仲山さんは壊れた建物が

そのまま残っている写真を見せながら、時が止まったような町の状況を伝えた。

「昨年から除染が始まり、車が走ったり作業員の声が聞こえたりするようになった」と最近の変化も紹介。一年数カ月後には住めるようになると言われているとしつつも、「果

たしてどれだけの人が戻るかは分からない」と述べた。

今春から語り部グループ「富岡町3・11を語る会」の一員として活動している仲山さん。生徒たちに「来年の桜の季節に富岡町のことを思い出してください。いつの日か桜の下で皆さんを迎

えたい」と呼び掛けた。

(井上峻輔)



原発事故後の富岡町について語る仲山弘子さん。江南市古知野町の古知野高で